

恵みをつなぐ物語り

山口県 長門市



夜の海に漁火を灯し、仙崎ふとイカを獲る漁師のツネオ。料理人のタツヤがそのイカで生き造りを仕立てる。

身は透き通り、口に運べば上品な甘味が広がる。「今日のは文句なしだ」と笑うツネオだが、その顔に陰りが差す。

「最近、漁に出る船も減ったな…」

「漁獲量も、年々下がってる」

若手の漁師も少なく、後継者不足は深刻だ。ふたりはその現実に危機感を募らせていた。それでも客が「甘い…」と感嘆するたび、希望の光がかすかに灯る。

「この味を、途切れさせたくない」

「…でも、このままじゃ続かないかもしれない」

それでも二人は、諦めずに今も海と向かい合い続けている。

長門市では日本の食を守るため一次産業の担い手の創出に力を入れ、明日へつなぐための取り組みをしています。

しかし、これは長門市だけでは描ききれない、大きな物語です。

そこで、ともにページをめくってくださるパートナーを、私たちは求めています。

地域と企業が手を取り合い、一つの未来を創る——そんな「物語の共演者」として、貴社のお力をお貸いいただければ幸いです。

どうぞご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

寄附金を活用させていただく事業



1. 漁業イノベーションサポート事業

漁業者の所得向上を目的とした取り組みや、漁法の改善、省労力化の取り組みを支援し、水産業の活性化を図ります。

2. 生産力向上チャレンジ推進事業

魚介類の増殖、養殖等の育てる漁業に対する取り組みを行い、育成場所の整備を実施し資源増殖を図ります。

3. ながと特産物振興事業

豊かな自然や身近にある木と触れ合うことにより、暮らしに木を取り入れ、国産材木製品の消費を増やし、そのことが日本の森を育て、守っていく循環型社会を進めます。

4. ニューフィッシャー確保育成推進事業

漁業経験がなく、経営基盤がぜい弱な新規漁業就業希望者に対し漁業技術、知識等の習得のための支援を行い、漁業者の定着支援を図ります。